

プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で 昼も夜も星空満喫～

定員20名で実施中

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員による生解説、後半は、オリジナル番組「銀河」を投影しています。観覧の際は、引き続き感染防止につきましてご協力いただきますよう、よろしくをお願いします。

テーマ番組「銀河」2月16日から投影中

2月16日から投影している、オリジナル番組「銀河」。銀河は宇宙にたくさんある天体ですが、どんな天体なのか、一般的に広く知られていないかもしれません。さじアストロパークが誇る103cm大型望遠鏡(キラット望遠鏡)で撮影した銀河の画像などを使って、銀河や宇宙の姿について紹介します。



音楽: Yuta Itani

2015年、湯川れい子氏が審査員長の「第12回ゴールドコンサート」で、グランプリを受賞!以降、国内外で活動の幅を拡げ続けている、鳥取県出身のサウンドクリエイター。

<https://www.yutaitani.com/>



ナレーション: ノグチ アツシ

山陰を拠点にナレーターやミュージシャンとして活動中。

また別名「安来のおじ」としてもエフエム山陰のラジオパーソナリティやCM出演でお馴染み。二つの顔を使い分け、多方面で活躍中。

2. 103cm大型望遠鏡で天体観察会

定員20名、要予約で実施中

103cm大型望遠鏡を使った「天体観察会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を20名 ②事前予約 ③マスク着用 ④緊急連絡先の提出 をお願いしていますのでご了承ください。感染防止につきましてはこれまで通りご協力いただきますよう、よろしくをお願いします。個人の方(お一人からご予約できます)はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



5月の注目天体情報

☆見ごろの星座: おおぐま座(北斗七星)

「北斗七星」は春によく見られる星の並びですが、星座の名前ではありません。星座としてはもっと大きな「おおぐま座」となり、その一部分が北斗七星ということになります。鳥取市内に比べて開花が遅いさじアストロパークでは、八重桜との競演が楽しめます。

☆春の銀河たち

春の銀河が見頃です。淡くぼんやりとした銀河も、103cm大型望遠鏡で観察するといろいろな形がわかります。(右の画像は、ソンプレロ銀河)

☆テレビ観望システム

4月から10月までは毎週金・土の観察会で運用します。103cm大型望遠鏡で天体を直接観察することに加え、リアルタイムにモニターに映し出される天体映像を、専門職員の解説付きで観賞していただけます。このシステムは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(令和2年度)を活用して整備されました。

